

日本スピリチュアルケア学会
資格認定委員会・教育委員会

2023年度第一回現任者研修

事例報告の新しい書式（書式B）について

ver.5.1. (240104 tdi)

資格認定委員・教育委員

伊藤高章

「事例報告」

- 以下の手続きをする際に必要とされる書式であり、
 - スピリチュアルケア師の活動の記録であり、
 - またそのケア実践力の証明。

0. 臨床スピリチュアルケア師 資格取得手続き (不要 ⇒ 認定教育プログラム)
1. 臨床スピリチュアルケア師 資格更新手続き
2. 専門スピリチュアルケア師 資格取得手続き
3. 専門スピリチュアルケア師 資格更新手続き

<https://www.spiritualcare.jp>



➤ 入会のご案内



➤ 学術大会



➤ 資格認定について



➤ コラム・読み物・声



▶ 入会のご案内



▶ 学術大会



▶ 資格認定について



▶ コラム・読み物・声

ニュース

学会からのお知らせ

会員からの発信

2023.12.08

学会からのお知

2024年度資格審査オリエンテーション資料

2023.12.01

学会からのお知

第2期代議員選挙 代議員候補者確定のお知らせ

2023.11.28

学会からのお知

会員の社会発信について

2023.11.13

学会からのお知

教育委員会からのお知らせ (2023年11月)

2023.11.11

学会からのお知
らせ

資格審査および指導資格についての告知の予定

[これまでの一覧を見る >](#)

一般社団法人
日本スピリチュアルケア学会

ホーム

学会について

- 代表理事挨拶
- 学会の沿革
- 役員・委員会
- 入会案内・変更
- 定款と諸規程

資格認定

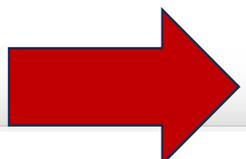
- 資格認定方針
- スピリチュアルケア師 倫理綱領
- 認定を受けたスピリチュアルケア師
- 認定教育プログラム
- 主たる実習機関・団体の例
- 資格認定審査申請書式

学術大会

- 過去の学術大会
- 研修
- 学会誌・出版物
- 旧学会ニュースレター

コラム・読み物・声

- 資格認定委員会より
- 会員からのお知らせ
- 学会からのお知らせ
- お問い合わせ



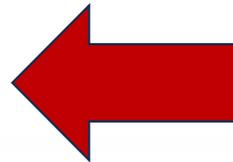


定款と諸規程

ホーム > 学会について > 定款と諸規程

諸規程集

一般社団法人日本スピリチュアルケア学会 諸規程集



諸規程集

一般社団法人日本スピリチュアルケア学会

2021年2月5日

目次

0. 一般社団法人日本スピリチュアルケア学会定款	3
1. 理事会運営規程	15
2. 寄附取扱規程	19
3. 会員規程	22
4. 代議員選挙規程	27
5. 委員会規程	32
6. 会計規程	37
7. 旅費規程	43
8. 個人情報保護規定	45
8-1. 個人情報保護方針	52
9. 公益通報規程	54
10. 文書管理規程	58
10-1. 文書管理規程別表 文書管理期間	60
11. 研究倫理審査細則	62
12. 代議員総会運営規程	64
13. 専門職規程	70
別表 1	75
14. 専門職資格認定細則	76
別表第1 資格審査基準	80
15. 専門職資格更新細則	82
別表 「専門」資格更新時の教育・研究活動ポイント（学術ポイント）	87
16. 専門職認定教育プログラム細則	89
17. 資格認定委員会細則	93

【臨床・更新】 1. 専門職資格更新細則

第3条 **臨床スピリチュアルケア師の資格更新**のための申請を行うことができる者は、以下の各号のすべてを満たした者でなければならない。

- (1) 臨床スピリチュアルケア師として、5年間で400時間以上の臨床活動を行っていること。
- (2) 本法人が指定する書式により、**事例報告**を5本提出すること。なお、うち3本は本法人が認定するスピリチュアルケア師教育プログラム(以下、「認定教育プログラム」とする。)の指導者による指導を受けていること
- (3) 本法人が主催する学術大会に5年間に2回以上参加していること。

【専門・取得】 2. スピリチュアルケア専門職規定

第5条2 第3条第2項第2号に定める**専門スピリチュアルケア師の資格**は、次の各号のすべてに該当し、かつ、本法人が実施する資格認定試験に合格して本法人が設置する資格認定委員会の推薦を受け、本法人の理事会が承認した者に付与する。

- (1) 定款第6条に定める正会員又は学生会員であること。
- (2) 原則として、第3条第2項第1号に定める臨床スピリチュアルケア師の資格を有していること。
- (3) 原則として、スピリチュアルケア師教育課程修了後2年以上の臨床スピリチュアルケアの実践経験（120時間以上）があり、認定教育プログラムにおいて専門スピリチュアルケア師養成のための60時間以上のスーパービジョンを受けていること。
- (4) **事例報告**等を含む学術的発表能力を示す業績があること。
- (5) 認定教育プログラムの代表者が、専門スピリチュアルケア師の資格審査受験の手続きを行っていること。

【専門・更新】 3. 専門職資格更新細則

第3条2 専門スピリチュアルケア師の資格更新のための申請を行うことができる者は、以下の各号のすべてを満たした者でなければならない。

- (1) 専門スピリチュアルケア師として、5年間で400時間以上の臨床活動を行っていること。
- (2) 本法人が指定する書式により、事例報告を5本提出すること。なお、うち3本は認定教育プログラムの指導者による指導を受けていること。
- (3) 本法人が主催する学術大会に5年間に2回以上参加していること。
- (4) 本法人が別表に定める学術ポイントを30ポイント以上有していること。

資格認定・更新のために：

本法人が指定する書式による「事例報告」

- 5本の作成：提出
- そのうち3本は、認定教育プログラムの指導者による指導を受けしていること
 - ✓ 出身認定教育プログラムが提供する会話記録検討会 等
 - ✓ どの認定教育プログラムを修了したかを問わない「会話記録検討会」
(指導スピリチュアルケア師による指導)



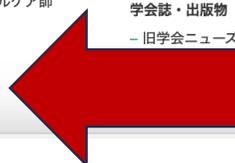
ニュース **学会からのお知らせ** 会員からの発信

- 2023.12.08 **学会からのお知らせ** 2024年度資格審査オリエンテーション資料
- 2023.12.01 **学会からのお知らせ** 第2期代議員選挙 代議員候補者確定のお知らせ
- 2023.11.28 **学会からのお知らせ** 会員の社会発信について
- 2023.11.13 **学会からのお知らせ** 教育委員会からのお知らせ (2023年11月)
- 2023.11.11 **学会からのお知らせ** 資格審査および指導資格についての告知の予定

[これまでの一覧を見る >](#)

一般社団法人
日本スピリチュアルケア学会

- | | | | |
|---|---|---|---|
| <p>ホーム</p> <p>学会について</p> <ul style="list-style-type: none"> - 代表理事挨拶 - 学会の沿革 - 役員・委員会 - 入会案内・変更 - 定款と諸規程 | <p>資格認定</p> <ul style="list-style-type: none"> - 資格認定方針 - スピリチュアルケア師 倫理綱領 - 認定を受けたスピリチュアルケア師 - 認定教育プログラム - 主たる実習機関・団体の例 - 資格認定審査申請書式 | <p>学術大会</p> <ul style="list-style-type: none"> - 過去の学術大会 - 研修 <p>学会誌・出版物</p> <ul style="list-style-type: none"> - 旧学会ニュースレター | <p>コラム・読み物・声</p> <ul style="list-style-type: none"> 資格認定委員会より 会員からのお知らせ 学会からのお知らせ お問い合わせ |
|---|---|---|---|



資格認定審査申請書式

ホーム > 資格認定 > 資格認定審査申請書式

審査に臨まれる方は、

資格認定方針

をよく読み、最新の申請書式をダウンロードして印刷し、ご自身が学ばれた認定教育プログラムに連絡を取って、締め切りに間に合うように、申請書類を準備してください。

【参考】例年、資格審査は7月上旬に行われます。認定教育プログラムから学会事務局宛の提出期限はその年の5月中旬です。申請書類は、認定教育プログラムを介して学会事務局に提出する必要があります。受験者が認定教育プログラムに書類を提出する期限は、書類作成作業に必要とされる期間を見て、4月なかばから5月上旬ごろと推測されますが、かならず認定教育プログラムにご確認ください。

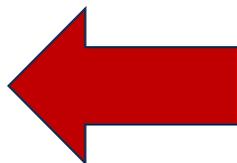
臨床資格・専門資格および新規申請・更新申請の手続きと書式

【臨床・新規】

【臨床・更新】

【専門・新規】

【専門・更新】



【臨床・更新】臨床資格審査の更新申請書式

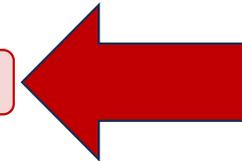
「2023年資格審査概要」と、臨床・更新の出願書式一式、臨床・更新審査案内の3点をダウンロードのうえ、よく内容を確認して作成してください。

認定教育プログラムに提出する期限に遅れないように準備して下さい。

[2023年資格審査概要をダウンロードする](#)

【臨床・更新】（旧・認定資格）資格審査出願書式一式をダウンロードする

[2023年臨床スピリチュアルケア師・更新審査案内をダウンロードする](#)



更新にあたり、当法人が実施する二つの継続研修（「倫理研修」および「現任者研修」）の受講が申請の要件に加わりました。継続研修は、学術大会時に行われる「スピリチュアルケア師倫理講習」とは異なります。

事例報告作成の手引き

以下の「事例報告作成の手引き」に目を通し、記録作成例にならって事例報告を作成してください。事例報告の作成後は、「事例報告作成の手引き」と「記録作成例」は削除してから印刷し、提出してください。

事例報告は、全体として、11ポイントのフォントサイズで、A4用紙2枚以内に収めることになっています。小さい字や狭い行間で、詰め込むのではなく、無理なく2ページに収まるように事例報告をまとめてください。

スーパーヴァイザーの指導を受けたのちに、それを振り返った「事後レポート」を追加しますが、事後レポートの部分だけは3ページ目にかかってもかまいません。

SV(スーパーヴァイザー)の際に、事例報告(会話記録)として提出する内容の説明

- ・自分の記憶を頼りに作成し、内的経験をできるだけ詳しく記述してください。
- ・事例報告(以下の①、②まで)は、A4用紙2枚以内にまとめてください。文書のレイアウト、余白、文字数、行数、フォントなどで工夫してください。なお、文字サイズは11ポイントにしてください。
- ・実際の事例のすべてを会話記録に起こし出す必要はありません。自分にとって気になったり、印象に残ったりした、連続した場面だけを抜き出してください。(要約のような記録にせず、必ず、会話者双方の反応が分かるような、連続した場面について書いてください。)

※同一のケア対象者に対する継続的な関わりを報告する場合には、複数の事例報告書をお書きください。

・日付や場所は(例)のようにして隠してください。ケア対象者やスタッフの個人名は書かないでください。

ただし、更新審査時点で事例が有効かを確認するため、事例の年は明記してください。

・何回目の訪問なのかを記載してください。(例)全52回中17回目ならば、17/52回目の訪問

・冒頭に、ケア対象者に関する状況、病名、家族背景、スピリチュアルケア師がこの事例に関与した経緯・きっかけ、会談場面の直前の状況、などについて記載してください。

・() を使って、相手の様子、状況説明などをできるだけ書き加えてください。

・[] を使って、自分の気持ちをできるだけ書き加えてください。

※提出物には、マーカーや線掛けは不要です。

・最後に、会談場面の後の状況を簡単に記載してください。

・M5、C14のような記号は、会話記録を分析するために使用するので、対話相手の番号とずれても構いません。

・方言を無理に標準語に直す必要はありませんが、適宜補足説明をしてください。

・なるべく、教学・神学・宗学的な用語を使わないようにしてください。

①対象者理解 では、ケア対象者のアセスメントを事例状況に即して記載してください。表のすべての箇所を埋めなくても構いません。詳しい記載方法を後段で説明します。

②自己理解 では、SVの指導を受ける前の自己理解、課題、反省点などについて記載してください。

③SV後の振り返り では、SVの指導を受けた後で気付いたことを記載してください。(SVの指導を受けていない事例では、この③を記載する必要はありません。)

SV(スーパーヴァイザー)の際に、事後レポートとして加筆するため、3ページ目に記載してよい

・次項の会話記録(例)は、架空の事例です。

①対象者理解の表の記載方法

思いの対象	積極的感情表現	消極的感情表現
超越的		
現実的		
内的		

・ケア対象者の言動や心的状況などを参考にして、積極的感情の表現(ケア、支え、願い、希望、愛情、信頼、期待など)、消極的感情の表現(ペイン、苦悩、不満、不信、挫折、失敗、怒り、不安など)を記載してください。その感情や思いが向けられた対象を、「超越的」「現実的」「内的」の3つに分けています。6箇所をすべて埋める必要はありません。

・6箇所のどこにも当てはまらないことは、欄外に記載しても構いません。

・超越的(超越的なもの、法縁、超越的他者、超越的次元):神仏、死者、宗教性、哲学など

[積極的感情表現の例] 亡き祖母との絆、信仰心、神への祈り、座右の銘、天国への期待

[消極的感情表現の例] 神への不信任感、地獄に落ちないか、亡き姑に会いたくない、嫌いな言葉

・現実的(他者や環境事象、他縁、水平的関係、現実的次元):人間関係、大切なモノ・コト・活動など

[積極的感情表現の例] うどんを食べたい、家族への感謝、ベトナムに会いたい、信頼できる人

[消極的感情表現の例] 父への怒り、誰も信用できない、孤独、財布を落とした

・内的(内的自己、自縁、究極的自己、内的次元):過去、未来、自分自身、内面など

[積極的感情表現の例] なつかしい思い出、明日への希望、今を生きる、独りがいい

[消極的感情表現の例] 家族の行く末が心配、過去の失敗、むなし人生、自分を許せない

<参考文献>

大下大圓・梶山徹(2020) APC 人生会議でこころのケア、ピング・ネット・プレス、pp.59-62

河正子(2005) スピリチュアリティ、スピリチュアルペインの探求からスピリチュアルケアへ、緩和ケア、15(5)、pp.368-373

窪寺俊之(2008) スピリチュアルケア学概説、三輪書店、pp.23-26

谷山洋三(2016) 医療者と宗教者のためのスピリチュアルケア、中外医学社、pp.68-74

【記録作成例】

更新審判中に有効性を確認する
ため、年次計は別記

2018年1月y日 14時～14時20分(20分) P氏自宅(中部地方) 1/1回目の訪問

対象者：P氏(50～60代、女性) スピリチュアルケア師(Y)：山田太郎

P氏は、昨年末の豪雪により被災。自宅は半壊。避難所で生活しているが、正月なので片付け・掃除・荷物の整理、神棚・仏壇の供物などのため一時帰宅。8年前に糖尿病発症、今は月1回通院。夫は海外に単身赴任中。娘2人は都会で就職。近隣住民や村内の親戚とは良好な関係。

(A町社協の割り振りにより、除雪ボランティアとして他3名とともにP氏宅を訪問。休憩中に話が始まる。キッチンでお茶を飲みながら、何気ない話の後、以下の会話になる。他3名も聞いているが、徐々に私にだけ話すような形に。)

P1：旦那も娘たちも、帰ってくるって言ってたんだけど。止めとけて (P氏が伝えた)。

Y1：どうしてですか？[ちょっと驚く]

P2：帰ってきてても、寝るところもないし。避難所は狭いし。家は寒くて、灯油も買って来れない。隙間風が冷たい。春になって直してからじゃないと。(淡々とした様子)

Y2：そうなんですね。[なるほど、しかたないが]

P3：…、(長い沈黙) [どうしよう、もう少し待ったほうがいいかな、こちらから話したほうがいいかな]

Y3：でも、ご家族に会えないと寂しいですね。

P4：そうだね。心細い。(目が潤む) [つらいよなあ]

P5：(急に元気な声で) でも、皆さんに来ていただいて、ありがたいです。一人じゃ、どうにもできないから。(涙声で) ありがとうございます。心細くて。何から片付けていいのか、考えられないでいて。(少し落ち着いて) 避難所だと、近所の人も、親戚もいるから、話し相手もいるけど、(声が小さくなる) 一人で家に帰ると、…(うつむく)

(同席している他の3人は心苦しそうなお顔をしながら頷いている。Yは、起伏のあるP氏の感情が心配になる。)

Yを含めて皆が、どう声をかけていいか戸惑っている。)

Y4：[どうかしないと] (P氏の手を握って) 心細いですよね。一人だと。

P6：(Yの手を握り返して) ありがとうございます。皆さんのおかげです。(涙を流す)

P7：(しばらく沈黙) [さっきの沈黙ほど困っていないが、なんとか力になれたかな]

P8：旦那も、娘も毎日電話してくれるの。(少し明るくなった) スマホでテレビ電話できるからね。顔を見るとホッとする。でも避難所で、みんながいるから、泣けないし。ハハハッ(無理な笑顔) [急にPさんが明るくなって困惑]

P9：ありがとね。来てくれて。そろそろ日が暮れるから、今日はこれでおしまいね。(立ち上がる) あとは、帰る準備してね。ありがとうございます。[あれれ、急に終わったような感じ]

(P氏はお茶を下げはじめ。Yを含めて4人とも帰る準備を始める。その後、お別れの時にはP氏から丁寧に感謝が述べられ、1人1人握手をして別れる)

①対象者理解：

思いの対象	積極的感情表現	消極的感情表現
超越的		
現実的	娘の電話、ボランティアの存在	家族に会いたい
内的		先が見えない

②自己理解：

1対1の場面でもなく、作業をしながらだったので、傾聴に徹していいのかどうか、このまま沈黙のまま待たせようかどうかなど、戸惑うことが多かった。Y4で自分から手を握ったのは、「この場をどうにかしなければ」という思いがあったからだと思う。

最後は急に終わってしまった感じがして、自分の気持ちの落ち着けるところを見つけられなかったが、最後に握手をしたときに、「離れていても1人じゃないよ」という気持ちを込めた。しかし、これは言葉にして伝えるべきだったと後悔した。また、Y4で手を握ったのは適切だったかどうか、SVと検討したい。P氏の細かい様子に思わず手が出たのだが、P氏にはその気持ちは誤解なく伝わったように思う。

ここまでを11ポイントのフォントサイズで、A4用紙2枚以内におさめる

SV(スーパーバージョン)後に、事後レポートとして加筆されるこの部分のみ、3ページ目に入ってもよい

③SV後の振り返り：

Y4の握手は、SVより「性別が異なるので倫理的には問題になる可能性もあるが、年齢は親子ほどの差があるので(Yは32歳)、結果オーライ」という指摘を受けた。少し安心したが、倫理面は常に意識したいと思う。また、何のための握手だったのか、自分のためだったのか、Pさんのためだったか、自分でも判断としないが、この点はもう少し考えておくべきだと思った。

お別れの時の握手は、SVより「気持ちは伝わったのでは」と優しい助言をいただいたが、やはり言葉にして伝えた方がよかったと思う。私は大切なことを、大切だからこそ照れて言葉にしないことがあり、この「照れくさい」という気持ちをどうにかしなければ、と以前から思っていた。SVからは「責任感、相手への依存もしくは“伝わるだろう”という甘えではないか」と指摘され、心に刺さるものがあった。自分自身もっと大人として自立(自律)しなければと思った。

今日のテーマ：「本法人が指定する書式」の追加 (書式 B)

■ 現行：書式 A ◎会話記録

- 一回の会話の中の一部もしくは全部
- 録音等に頼らず、記憶に基づき作成する
- スピリチュアルケアとしての関わりを10往復程度の逐語会話記録の形で再現する。
- ケアのミクロな視点からの記録

■ 新規：書式 B ◎事例報告

- 一人の対象者との連続した関わりの記録
- 記録等を振り返り、ケアの全体像を報告する。
- スピリチュアルケアとしての主要な関わりを逐語会話記録の形で報告
- ケアのメゾな視点からの記憶

スピリチュアルケアにおける記録・報告

以下のスライドで用いられる略語

スピリチュアルケアの「提供」「対象」などの表現には、議論すべき内容が詰まっています。それらを回避するために、煩雑ですが以下の略語を便宜的に使います。ご理解ください。
(ただし、レクチャーではこの考えが反映できていません)

SC：スピリチュアルケア

CP (Care Practitioner)：SCを目指す関わりに、意識的に携わっている人

FC (Focus of Care)：CPが、SCを意識して関わっている相手

記録・報告：SC教育実践の最大の課題の一つ

■ CPがどのようにFCに関わったかの記録（責任・役割）

- うまく行ったことも行かなかったことも 全て 記録する必要がある
- CPの共同体（SC / 他職種）への信頼と協働と相互のサポートのため

■ FCが経験するSCの味わい・変化（意義・効果）

- SC観：時間（今ここ、分、時、日、年、今生、…）の中での変化
- ただし、FCのスピリチュアリティを理解する術を、我々は持っているのか？

■ 実践のガイドライン（教育・養成）

- どのような記録・報告を残すかが、どのような実践をするのかを導く
- その繰り返しでCPを実践的に養う

■ 他のケア職種とのコミュニケーションのツール

- 何が記録すべき事柄なのか？要 吟味 〈CPの倫理と、密かな優越感の功罪〉
- SCの役割をどう理解してもらうか

記録・報告の内容

- FCのスピリチュアリティの状況・変化を客観的に記述？
 - 科学（人間科学を含む）の視点：3人称
 - スピリチュアリティの客観的記述は可能か？
 - SCにおけるFCを観察・分析する方法論は確立しているのか？
- CP自身の経験を記述（上記：客観的記述との区別は、実は曖昧）
 - SCの出来事の相互性を前提
 - CPの主観的経験（CP自身の intra-/inner-dynamics）の偏りの自覚
 - CPの経験の記述はFC理解のために意味があるのか？
- FCとCPの間の出来事の記述
 - 間主観性：人文学の視点
 - 立ち現れる出来事：CPの関わりだけがSCの関心事ではない
 - 教育訓練の困難

スピリチュアルケア学会のチャレンジ

- 学会内での記録・報告に関わる議論を通して、SCに関するさまざまな理解について、対話を促進する。
- 他職種に理解してもらうための視点を明確にする。

チャレンジ

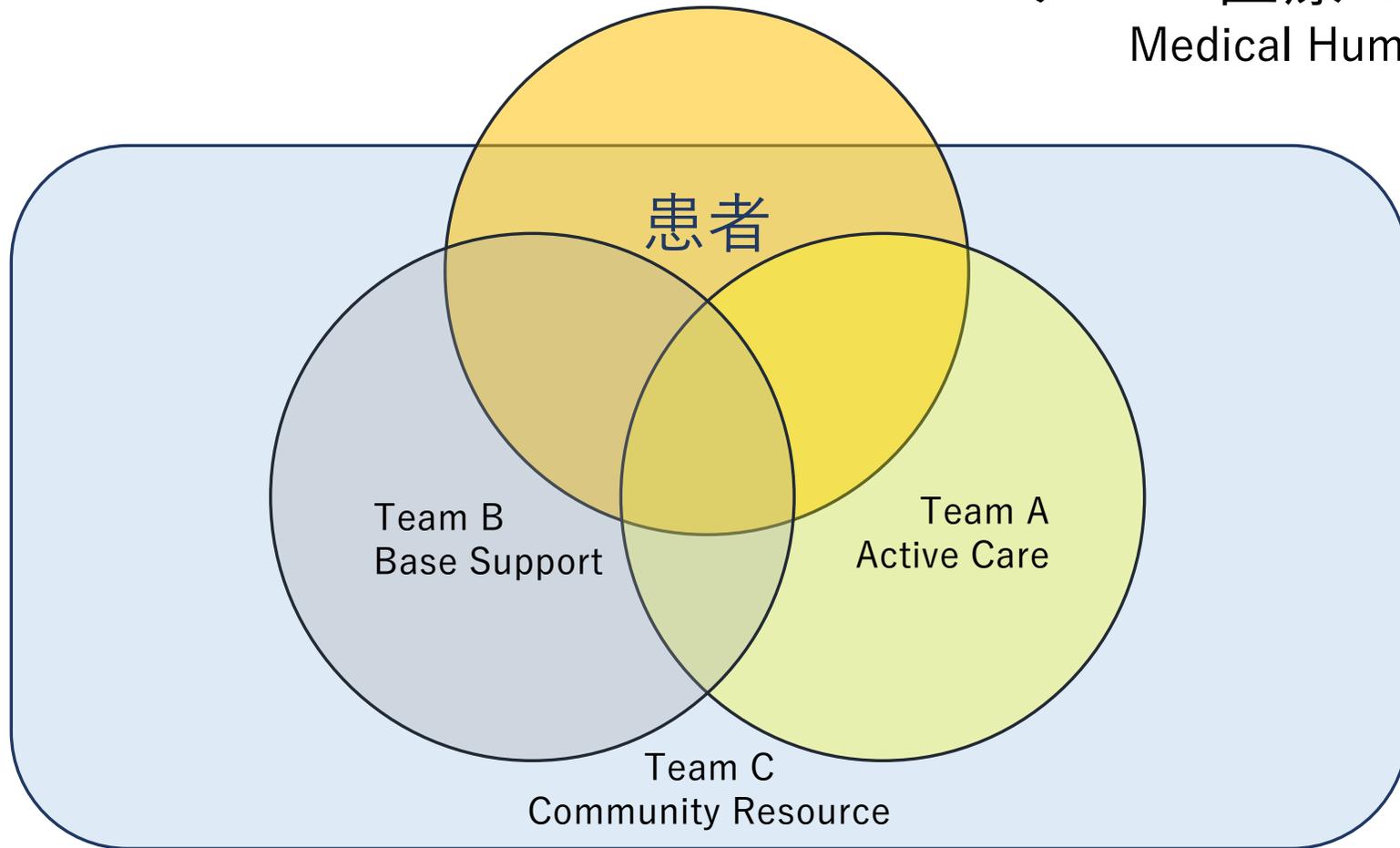
- 医学／人間科学を補完する視点の確立
 - 観察・分析・診断・対処ではないSCというアイデンティティ
- 布教・伝道の相対化
- 考え方指導、生き方指南、ライフスタイルへの誘導との差別化
- CPに働くスピリチュアリティの意識（受動態）
 - 理解・分析・技術 だけでなく
- FCに働くスピリチュアリティへの注目（能動態）
 - CPの働き + α
- ケア関係の只中に働くスピリチュアリティへの感性（中動態）

これらに関する
各認定教育プログラムにおける理解、教育について
対話の醸成

チーム医療の理念 Medical Humanities

22

2023年12月10日：書式B解説



Ueno, N. T. et al. *Nat. Rev. Clin. Oncol.* 7, 544–547 (2010); doi:10.1038/nrclinonc.2010.115
(ただし、Team AとTeam Bの左右を入れ替えてある。)

ver:5.1 (240104 tdf)

チーム医療

Team / Component	専門職種例 1	専門職種例 2	目的	方法	価値
A Active Care	医師 看護師 保健師 公認心理師 臨床心理士	薬剤師 臨床検査技師 作業療法士 理学療法士 他	科学的根拠に基づく治療の提供 標準治療のない課題への研究と取り組み 多職種連携におけるケアへの合意形成	直接的治療介入 検査/診断/技術 研究	客観性 合理性 効果 責任
B Base Support		チャプレン 臨床宗教師 臨床傾聴士 芸術療法士 他	患者の生活者としての尊厳の維持 人生観/価値観/死生観の明確化支援 治療の ownership の明確化 治療選択支援/意思決定支援 「患者役割」からの脱却：生活者の視点	傾聴 Empowerment 相互性	関係性 人権擁護 畏敬
C Community Resources		家族・友人 コミュニティ 医療・介護保険 地域包括ケア 基礎研究 医療産業 他	安寧 正義の実現 経済的発展 社会的資源開発/利用 創薬 医療機器/医療技術の向上	制度整備 財源確保 研究/開発 持続可能性維持	公平性 市民社会 well-being

1 人称

0 人称

ケア対象者

Team B
Base Support

Team A
Active Care

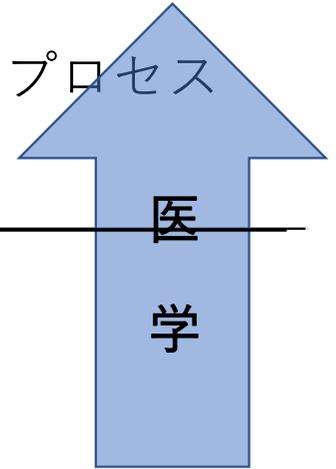
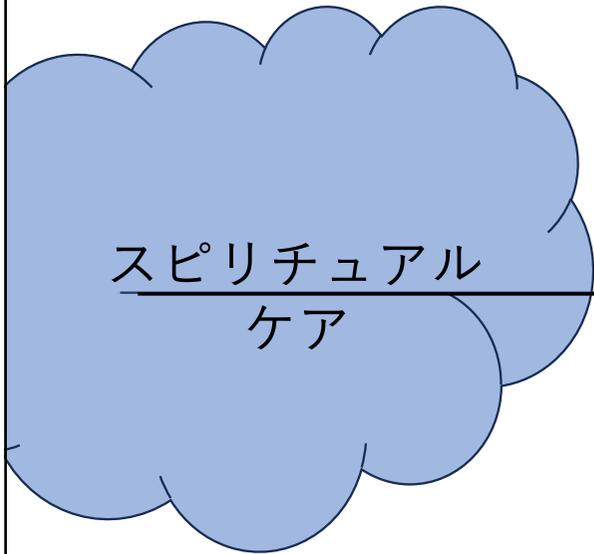
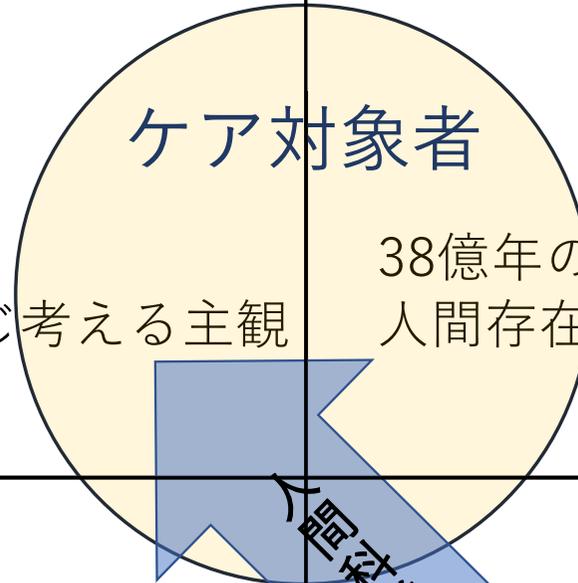
Team C
Community Resource

2 人称

3 人称

1 人称

0 人称



感じ考える主観

38億年の進化を経た
人間存在の機能・構造・プロセス

スピリチュアル
ケア

医学

科学的知見

今・ここに働く
CPとFCとの関係性

科学的知見（三人称）

傾聴・対話に基づく相互の味わい
相互の主観を間主観的に感得

2 人称

3 人称

S C の記録・報告：不可欠の要素

■ 相互性と他者性の意識

- CPにとって、FCの全体像は不可知
- CPにとって「気になったところ」「印象に残ったところ」を切り口にしてFCに近づく
- (FCの様子) [CPの気持ち] を丁寧に記述する

■ CPの視点の限界と可能性を意識した上での記述

- FC理解
- CPの自己理解

事例報告 (例)

期 間： 2020年Y月～Z月

(入院期間約2ヶ月のうち、最初の2週間のスピリチュアルケア師の関わり)

場 所： ○○県内にある総合病院緩和ケア病棟

スピリチュアルケア師： (C)：氏名 山田太郎

対象者： (A) 氏、50代男性・会社員・肝臓がん、同居家族は妻と娘二人 (高校生)

1. 状況：ケアの前提になる対象者の状況。特に注目した内容に下線。

- 5年前に会社の検診で肝臓がんが見つかり、手術、抗がん剤治療を行う。その後、胃や腸にも転移(ステージ4)。余命は2ヶ月位と考えられた。医師は、苦痛の緩和に努めたいとAさんと家族に伝え、本人と家族の希望で同病棟の緩和ケア病棟に転院。
- Aさんは余命が長くないことを察したが、会社や家族のことを考え、少しでも長く生きることが希望。
- 会社では営業統括部長。仕事一筋に生きてきて、社内でも評判がよく、同僚の信頼も厚い。
- 家庭のことは妻に任せきりで、妻には随分苦労をかけたと悔いている。退職したら一緒に海外旅行をしたいと話していたが、約束が果たせないことを悔いている。
- 医師から検査結果が伝えられたが、想像外に病状が悪化していたことを告げられて落ち込んでいた。緩和ケア病棟の看護師長からスピリチュアルケア師の訪室を依頼される。

2. 主訴：ケア関係者が把握する対象者のスピリチュアルな課題。

- 緩和ケア病棟に入院後、精神的に動揺し不安定になり、落ち込む。イライラして周りの人と関係が悪くなっていて苦しい。
- 特に「悔い」が激しく、自己否定してしまう。

3. 当初のスピリチュアルケアの焦点。留意・注意すべきこと等も記載。

- チームで全人的ケアを目指す。
- Aさんが現状の自分を受け入れること、家族と過ごす時間を大切にすること、「悔い」の思いと丁寧に向き合う援助などを目標にしたケアを、スピリチュアルケア師に期待。
- スピリチュアルケア師としてはAさんとの信頼関係をどう作るかが課題。

4. 経過：中心となる「言葉」や気持ちの関わり合い。

(対象者の様子) [ケア者の意図・思い] を () [] を用いて記載。

訪問1 / 入院後3日目

C01: (Aさんは想像したより落ち着いている。自己紹介。)

「何か相談したいことがあったら呼んでください。この病院には患者さんのお話を聞かせてもらう私のような人がいます。」(迷惑そうな様子もなく、訪問を受ける。)

A01: 「入院して、一人になると何か相談しようと思っても、相談する人がいなくて困りますね。私だけでなく、他の人も同じだと思います。助かります。」

C02: [Aさんとの関係を築けそうだ。]

訪問2 / 入院後5日目

A02: 「今まで何故自分が気づけなかったのか悔しいです。取り返しがつかないのですが、悔しいです。家族や会社にも迷惑をかけてしまい、どうしようもなく悔しい。」(涙ぐむ。自分

の健康のことや家族や会社に迷惑をかけたという強い思いを何度も吐露される。)

C03: [Aさんの「悔しい」という表現をこころにとめる。「後悔」とも、未来を共に過ごせない「悔しさ」なのか、両方の思いを感じる。]

訪問3 / 入院後7日目

A03: [スピリチュアルケア師はAさんの気持ちを尋ねた。] (Aさんは家族の将来のことを考え、妻や娘を見守れないことが「悔しい」と繰り返される。)

C04: 「ご家族のこと、ご家族と過ごされてきたお時間についてお聞かせください。」[内向きになり自分を責めるAさんの関心を家族との関係にむけようとした。]

A04: (ご家族との豊かなお時間をたくさん語られ。)[いろいろ、変まってゆくんですね。]

訪問4 / 入院後9日目

C05: 「Aさんは会社ではどんな働きをしていたのですか。」[Aさんが会社に迷惑をかけて申し訳ないという「悔しさ」を述べていたので、Aさんの気持ちを尋ねた。]

A05: 「私は少しやりすぎたかもしれませんが、自分に対して厳しかったように、同僚や部下にも厳しく、周りの人たちは苦しかったかもしれません。」

C06: 「同僚や部下が、Aさんを厳しい人だと思っていたと思うのですか。」

A06: 「そう思います」(反省と納得の混じった表情になる)

C07: 「Aさんはどうして厳しくされたのですか?」

A07: 「会社のためです。自分だけのためではありません。」

C08: 「悩みながら、一つ一つご決断をされてきたのでしょうか?」

A08: (長い沈黙)「あれでよかったかもしれません。厳しい人間として記憶されるのも、仕方ないですね。そういう仕事でしたから。」(Aさんは少し落ち着き、自分を取り戻したように見えた。自分を責める気持ちが消えて、むしろ自分が一生懸命仕事に取り組んできたことは、あまり間違っていなかったように感じ始めたようである。)

訪問5 / 入院後12日目

A09: 「ありがとう、お話しして少し自分が軽くなった気がします。」(Aさんの人生の肯定)

5. 考察

会社人間のAさんの心を苦しめたのは、会社や家族に迷惑をかけたことに深い悔いを持っていたことである。Aさんは内心誰かに話しかけたのかもしれない。はじめの訪問ではAさんの生き方や対人関係への反省と悔いが強く見えた。家族と会社に迷惑をかけたという悔いを訪室のたびに語った。スピリチュアルケア師は、心を込めて聴き寄り添ったが(C03)、Aさんはその悔いの感情からは抜け出せなかった。「悔しい」という表現の意味が、スピリチュアルケア師にはよく分からなかった。自分の違和感に留まり、関わりを深めた。

スピリチュアルケア師は、Aさんの経験を一緒にたどらせていただい(C04、C8)。Aさんご自身の中に、いろいろな視点があり、人生を肯定する力が生まれることを信じて関わった。

スピリチュアルケアは自分の「小さな物語」を「より大きな視点」で見ることである。Aさんは妻や同僚たちを新しく見直すことで厳しい自己反省、後悔から解放された。